

羽ばたけ!

名古屋大学発ベンチャー

エンジニアリング技術を医療業界へ橋渡し

メドリッジ株式会社

「うちの売りは、技術プラットフォームを持っていることです。」私、メドリッジ株式会社代表の益田が、弊社を紹介するときにする言葉です。本年1月にスタートアップした弊社は、新井史人未来社会創造機構ナノライフシステム研究所教授の研究室と共同で、マイクロ・ナノレベルの微細加工技術と、センサやアクチュエータ、ロボットなどのシステム化技術を基盤とした技術プラットフォームを構築しています。弊社は、ここから派生したシーズ技術を具現化し、医療、医薬研究等の医療業界に橋渡し（医療×ブリッジ＝メドリッジ）する事業を展開します。

主な事業として、末梢血から稀少ながん細胞のみを分取する新たな医療機器開発に取り組んでいます。また、今年度より脳外科医のための手術トレーニングシステムの販売を開始しました。暗黙知が多い脳外科手術において、そのプロセスを数値化・見える化する次世代手術トレーニングシステムです。

我々は、世界中の医療現場・医薬研究現場に降り注ぐ課題に対して、技術プラットフォームを活かし、解決の橋を架けていきます。

